

登別の新鮮な海の幸はいかが

4 / 7



平成25年登別海鮮直市

4月7日(日)、JR登別駅横の登別海鮮直市アンテナショップで『平成25年登別海鮮直市』（登別まちづくり促進期成会主催）が開かれました。

この日は、登別漁港で水揚げされたナンバンエビと室蘭追直地域マリンビジョン協議会の協力により、室蘭市で水揚げされた活ホタテ貝を販売。漁の状況により、ポタンエビやホッキ貝などの地元の旬な海産物も販売しています。

今年で8年目を迎える登別海鮮直市は、毎回、開店から約20分で完売する盛況ぶりです。

この機会に、新鮮な登別漁港産海産物はいかがでしょうか。

登別海鮮直市は、10月27日までの毎週日曜日10時から開催しています。

※完売次第終了（しけにより中止することがあります）。

▼問い合わせ 登別海鮮直市

☎090-9750-1344

9・9時～17時

交通事故に 気をつけて

4 / 5

新入学児童に対する交通安全啓発運動

4月5日(金)、鷺別小学校で『新入学児童に対する交通安全啓発運動』（市、登別市交通安全協会主催）が行われました。

この運動は新1年生が交通事故に遭わないように、正しい交通ルールやマナーを啓発することを目的に、入学式に合わせて毎年実施しています。

今年の啓発運動は鷺別小学校で行われ、約50人が参加。参加者は、真新しいランドセルを背負って登校した児童一人一人に、ランドセルカバーや学用品・パンフレットなどを手渡し、交通安全を呼び掛けました。



▲交通安全を呼び掛ける参加者と新1年生・保護者



▲市民から相談を受ける垣内さん（左）と吉田さん（中央）

釜石の奇跡から学ぶ これからの地域防災

登別市議会議員研修会

4月12日（金）、市民会館で「登別市議会議員研修会」（市議会議員会・市議会主催）が行われ、「想定を超える災害にどう備えるか」のテーマで群馬大学大学院教授の片田敏孝さんが講演しました。

この研修会は市民にも公開され、約600人の参加者は、想定外の災害に備え「避難文化を地域に醸成する必要がある」との話に熱心に耳を傾けました。

また、「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」との避難三原則に防災への気持ちを新たにしていきました。



▲地域防災について講演する片田さん

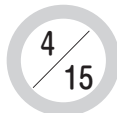
市民の皆さんの声を 行政に届けます

一日行政相談

4月15日（月）、登別郵便局で行政相談委員による「一日行政相談」が行われました。

この行政相談は、国や特殊法人（公団・事業団・銀行・公庫）、北海道、市の業務に関する苦情や意見、要望を受け付け、中立の立場から関係行政機関などに必要なあつせんを行い、その解決の促進、行政の制度・運営の改善を図るため、偶数月に行われています。

相談は無料で、秘密は固く守られます。市内には、垣内登紀子さん（☎0142-7245）と吉田伸吾さん（☎0142-7773）の2人が総務大臣から行政相談委員に委嘱されています。



『ばん平くん』 火災予防の啓発に出勤

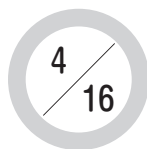
消防本部マスコットキャラクター命名式

4月16日（火）、市役所で消防本部のマスコットキャラクターの命名式が行われました。

このキャラクターは、消防職員がヒゲマをモチーフにデザインから制作までを手掛けたもので、3月に名前を公募したところ、4歳から81歳までの72人から応募がありました。

その中から親しみやすさや火災予防との観点で選考した結果、名前が『ばん平くん』に決まり、命名者の菅原光子さん（若草町）に感謝状が贈呈されました。

菅原さんは、「消防が市民の安全・安心を守る番人であってほしいとの思いから応募しました。『ばん平くん』が市民と消防の距離をより縮めてくれることを期待しています」と話してくれました。『ばん平くん』は、火災予防の啓発活動などで活躍する予定です。



▲感謝状を受け取った菅原さん（右）と『ばん平くん』